



ぎかいだより

懸 かけはし 橋

2016.4.28 No.41



s For You

がせう

CONTENTS

新学校給食センター建設事業費に 2億5619万円を計上……………	P 2
予算特別委員会－主な質疑－ ……………	P 4
町政を問う（一般質問：6人）……………	P 8
常任委員会活動報告 ……………	P 15

南部児童センターで大黒舞を披露

・発行 おいらせ町議会 ・編集 議会広報編集調査特別委員会 〒039-2192 青森県上北郡おいらせ町中下田135-2
 TEL 0178-56-2111(代表) FAX 0178-56-4364 おいらせ町ホームページ <http://www.town.oirase.aomori.jp/>
 QRコード読み取り機能付きの携帯電話等で読み込むと、議会ホームページに接続できます。→



平成27年度おいらせ町議会議長の 交際費を公表します

種類	件名	金額(円)
その他	衆議院議長就任祝賀広告(2紙)	32,400
会費	おいらせ町地域振興協議会総会	2,000
会費	上北郡町村議会議長会定例会(第1回)	3,000
会費	おいらせ広域シルバー人材センター総会	3,000
会費	町消防団屯所落成式	5,000
会費	おいらせ町物産振興会総会	2,000
会費	おいらせ地域岩手県人会総会	1,500
会費	三沢地区連合防犯協会定時総会	4,000
その他	宮城県北地方町議会議長会来町時接待費	3,360
会費	八戸市おいらせ会総会	5,000
弔慰	元百石町教育長葬儀(生花・香典)	25,000
弔慰	元おいらせ町議会議員葬儀(生花・香典)	25,000
会費	全国将棋祭り棋士を囲む歓迎レセプション	4,000
会費	下田タウン(株)社長歓迎会	4,500
協賛	おいらせ下田まつり祭ばやし競演会	10,000
贈答	町産業民生常任委員会調査活動のお礼	6,000
会費	上北郡町村議会議長会定例会(第3回)	4,000
会費	おいらせ町ふるさと大使情報交換会	3,000
会費	おいらせ下田まつり慰労会	2,000
贈答	町議会広報編集調査特別委員会調査活動のお礼	3,000
会費	おいらせ町消防団活動報告会	5,000
祝儀	(株)東京インテリアオープニングセレモニー	5,000
会費	社会福祉法人奥入瀬会・学校法人鳳学園合同忘年会	4,000
祝儀	おいらせ町消防団出初式(19分団)	44,700
会費	上北郡町村議会議長会定例会(第4回)	4,000
会費	(株)アグリの里おいらせ大臣賞受賞記念行事	5,000
会費	ぎゅ〜っとまるごとおいらせ町産直パーティー	7,000
会費	自衛隊入隊予定者激励会・祝賀会	4,000
会費	町消防団消防ポンプ自動車配置祝賀会	5,000
弔慰	元下田町議会議員葬儀(生花・香典)	25,000
会費	町消防団屯所落成式	5,000
	31件	261,460

第2回定例会のお知らせ

平成28年6月2日(木) 午前10時から

おいらせ町議会では、みなさんの傍聴をお待ちしています。傍聴をご希望の方は、議会開催日に、本庁舎3階の議会事務局までお越しください。

- 問い合わせ 議会事務局(本庁舎3階)
- 電話 0178(56)2111(代表)

表紙写真をお寄せください

あなたの作品を「ぎかいだより懸橋」に掲載しませんか。表紙の写真を募集中です。おいらせ町の「自然」「伝統行事」「イベント」など、おいらせ町の魅力あふれる写真をお待ちしています。

詳細は、議会ホームページの確認または、議会事務局までお問い合わせください。

送付先：おいらせ町議会事務局
「議会広報写真」係

TEL：0178-56-2111(代表)

FAX：0178-56-4364

Mail：gikai@town.oirase.aomori.jp

議会を傍聴して

山崎 齊さん(上新町)

年4回の定例会の中でも3月議会は最も大事な議案が提案され、喧々諤々、討論が戦わされることと、今年は合併10年の節目でもあることから久しぶりに傍聴して、改めて理事者側も議員各位も日頃の活動の中でアンテナを高くして情報を収集、分析し、町民のために日夜努力活動している姿を確認できた傍聴でした。

特に一般質問の中で一問一答方式は傍聴者にとっては内容を理解するには大変効果的であると考察しました。

各位の更なる活躍を念じます。



広報委員 木村 忠一
意見を願います。

私も議会広報編集調査特別委員会では、町民のみなさまに、見やすく、よりわかりやすい広報をお届けし、ご一読願いたいと思っております。

みなさまのご指導、ご意見を願います。

例年に比べて、記録的に降雪量が少なく、農業を基幹産業とするおいらせ町においては農作物への水不足が懸念されております。

編集後記

平成28年度
予算

新学校給食センター建設 一般会計は前年より6850万円

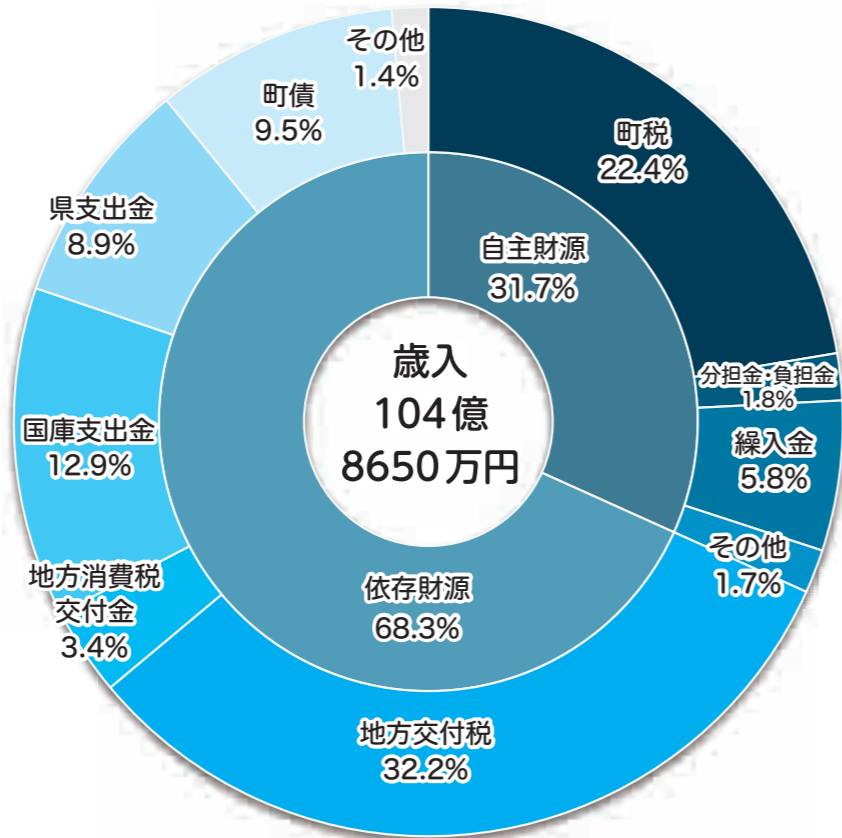
事業費に2億5619万円を計上 減少するも、教育費は1億7312万円増額へ



第1回定例会の様子

特別会計の予算

- 国民健康保険特別会計
30億1263万円 (3.4%減)
- 奨学資金貸付事業特別会計
2322万円 (17.7%増)
- 公共下水道事業特別会計
11億4207万円 (0.8%増)
- 農業集落排水事業特別会計
1億3457万円 (1.6%増)
- 介護保険特別会計
22億4630万円 (1.1%増)
- 公共用地取得事業特別会計
1021万円 (54.0%減)
- 後期高齢者医療特別会計
1億5942万円 (0.5%増)
- 病院事業会計
10億3842万円 (3.2%減)



一般会計 歳入予算構成グラフ

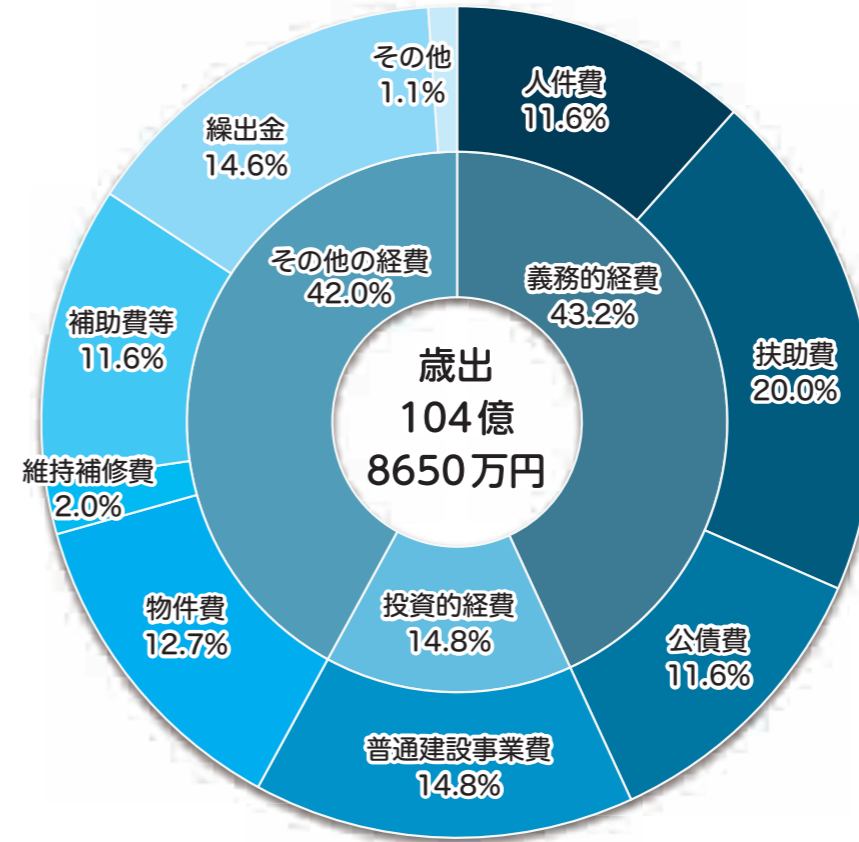
ポイント
前年対比

- ◎自主財源の減少、依存財源の増加
 - ・繰入金 (貯金の取り崩し) 2億2920万円減少
 - ・地方交付税1億228万円減少
 - ・町債 (借金) 1億7310万円増加
 - ・地方消費税交付金4800万円増加

自主財源：町が自主的に収入できるお金。
依存財源：国や県など、町以外の法律・基準・意思により決定され、町に分配・交付されるお金。

年度	民生費	教育費	土木費	総務費	公債費	議会費	消防費	その他
27年度	32.4%	11.9%	13.0%	13.5%	11.8%	1.1%	6.6%	9.7%
28年度	31.1%	13.6%	12.8%	12.3%	11.6%	1.0%	7.5%	10.2%

一般会計 歳出予算構成グラフ (目的別)



一般会計 歳出予算構成グラフ (性質別)

ポイント
前年対比

- ◎義務的経費1億494万円増加
 - ・人件費2526万円減少
 - ・扶助費1億6629万円増加
 - ・公債費3609万円減少
 - ・投資的経費 (単独事業) 2億6660万円増加
 - ・物件費1億1472万円減少

扶助費：児童手当や乳児・高齢者・重度心身障がい者の医療費に使う経費。
公債費：地方債 (借金) の返済金。
投資的経費：支出が資産の形成に向けられて、財産として将来に残るものに対して支出される経費。
物件費：人件費に計上されない賃金、消耗品や備品購入費、委託料などの消費的性質の経費。

平成28年第1回定例会は、3月3日から10日までの8日間の会期で開かれました。平成28年度一般会計、特別会計などの当初予算や町防災基本条例の制定、平成27年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算など、諮問1件、議案66件が上程され、審議の結果いずれも原案のとおり可決しました。
一般質問には、6人の議員が登壇し、全員が一問一答方式により町当局の考えを質しました。

予算特別委員会 ―主な質疑―

3月9、10日の2日間、予算特別委員会（橋山忠委員長）が開かれ、一般会計、7件の特別会計及び病院事業会計の平成28年度予算案を審査しました。

各予算について、議員と町当局の間で活発な質疑・応答が行われ、その結果、3月10日の本会議でいずれも原案のとおり可決しました。



橋山 忠 委員長
議事を進行する

成果があがっていると聞いているが、28年度の具体的な中身は。

町 昨年はカワヨとイオンで開催し、カワヨでは60名、イオンでは100名の参加があった。28年度は、夏と冬の2回を予定し、集団見合い宴会、ファーストインプレッション、余興、自由時間、告白時間という内容で計画している。

定住促進事業

町のPRを

平野委員 定住促進事業3年目になるが、転入の多い3月に施策をPRするべきではないか。

町 HPへ掲載している。パンフレットも作成済だが、広報には未掲載なので、早急に対応していきたい。

平野委員 婚活事業、今年の中身は婚活事業は

新設したい場合の手続き、費用負担は。

町 LED化に着手

澤上勝委員 街路灯が全部LEDに変わるのか。

を実施したが、28年度のいちよう公園で改修事業は終わる。

町 除雪により雪の壁が弊害をもたらしているが対策は。また今年のように暖冬により使わなかった除雪予算を大雪時等の緊急災害用に備えることはできないか。

また、今年もプレミアム商品券発売はあるのか。

町 商工会も2、3月は忙しい時期となり4月からの開催は厳しい。昨年7月から実施したが、6月からの実施を要望している。

商品券は、小規模店舗利用が少ないこと、財源がないことにより、28年度は予定していない。

公園トイレの洋式化は

澤上訓委員 公園トイレ洋式化工事の完了時期は。

町 大きな幹線道路は凍結して残らないように融雪剤を散布するように努力している。担当課、関係課と協議しながら、そついつ対策ができるの

町 28年度に町内全街路灯をLED化する。年内に工事を終え、3月までのリース料480万円を見込んでいます。

新設は、行政推進委員会に要望、意見を聞き、検討したい。

町公用車手配と

台数の検討を

西館秀委員 県内自治体で、教育長が人身事故を起こし辞職した例があるが、土日の公務での公用車の手配状況は。

また、スポーツ車1台では足りないと思うが。

町 町長車は町長が主に使っている。議長車は議長が使すが、空いている場合は副町長、教育長が使っている。空いていない場合には公共交通機関、自家用車を使い出張している。

スポーツ車はシーズンとなると各団体から申し込みがあり、抽選をせざるを得ない状況にあるが、現状では増やせない。

西館秀委員 経費削減の対象ではないと思うので、三役・議長には土日

の公務でも公用車を出すように検討してもらいたい。

スポーツ車の利用により、文化・スポーツレベルは向上すると思うのでよく検討してほしい。

火葬場使用料補助金

補助対象を拡大しては

澤上勝委員 十和田広域の火葬場を使用した場合には補助金がでるが、三沢の火葬場利用者にも出した方がいいのでは。

町 負担金も十和田広域に絞っている。十和田を利用してほしい。

馬場委員 混雑により十和田を使いたくても使えない町民に対して、一部でも補助するべきではないか。

町 今一度研究したい。

28年度の敬老会は

各地区で実施

松林委員 各地区に敬老会を委託し、町主催の敬老会はやらないのか。

これまで事情等で敬老会をやれなかった町内会にはどうするのか。

か今後考えていきたい。

震災から5年経過

復興状況は

西館秀委員 3・11から5年となるが、復興はどの程度進んでいるのか。

町 完全復興には至っていないが、避難タワー、避難階段、災害住宅含め一定の目途はついた。今後はいつ来るかわからない災害に備えて訓練をしていくことが大切だと思っている。

消防団員の待遇改善を

松林委員 消防団員の

費用弁償額が他町村と比べ、安くないか。28年度から改正すべきでは。

町 前向きに検討したい。

スクールバスの増便を

通学バスを

町 増便も考えたが費用が膨大にかかるため断念した。今後再検討していかなければいけないと考えている。

質疑を抜粋して掲載し

ました。詳しくは会議録をご覧ください。

町 敬老会は全面的に各町内会へ移行していく予定。未開催の町内会からは、開催についての相談を受けており、各町内会での開催が可能だと思っている。

耕作放棄地を解消し

農業振興のきっかけに

佐々木委員 農業振興地域整備計画基礎調査の結果を踏まえ、農業振興に取り組んでほしい。

町 調査結果を基に優良農地を残し、耕作放棄地は解消していきたい。

町観光協会

今年度の補助金は

馬場委員 町観光協会補助金について、昨年好評だった鮭まつり花火大会とビッグパワーテント設置は、28年以降も継続するのか。

町 昨年は10周年記念として補助金を増額したが、28年度は減額したため、花火大会・テント設置両方の実施は難しい。

高坂委員 町観光協会補助金は例年と同額なのか。

28年度新規事業、27年度で廃止となる事業は。

町 昨年より13万円増額している。新規事業はないが、既存の事業の中で工夫して観光イベントを盛り上げていきたい。また、木ノ下まつり補助金は廃止していきたい。

高坂委員

木ノ下まつり補助金の廃止理由は

町 観光協会では、氣比神社境内で実施している。町内会の祭りではないかという意見もあり、来年度から木ノ下ふれあい館で開催するということ、視察結果から町・神社との連携とならないと判断し廃止とした。



3年目を迎える軽トラ市

軽トラ市、早期開催を
澤上勝委員 軽トラ市開催時期を早めては。

平成28年度 主な事業

○阿光坊古墳群保存整備事業

2億9037万円

史跡指定された阿光坊古墳群について学び、体験できるガイダンス施設を阿光坊地区に整備します。

平成29年度にオープン予定です。

○学校給食センター整備事業

2億5619万円

老朽化した学校給食施設を1つに集約し、「安全で安心な美味しい学校給食」を提供します。

平成30年度にオープン予定です。

○小・中学校ICT環境整備事業

3973万円

小中学校に校内LAN回線を整備し、タブレットPCを使った授業を可能にします。

○防災行政無線放送施設整備事業

3億4671万円

平成28年度・29年度の2カ年で、老朽化した百石地区防災行政無線放送施設（屋外スピーカー・個別受信機）を更新し、デジタル方式に切り替えます。

第1回・第2回議員全員協議会

1月19日（火）、2月19日（金）に議員全員協議会が開催され、合計7つの案件について協議しました。

【第1回】

- ◆期日前投票所増設に係る協議報告について
 - 選挙管理委員会における調査研究の結果、当分の間、期日前投票所は増設しないことを報告。
- ◆町民プール整備基本構想・基本方針について
 - 町民プール整備について調査を進めてきた結果、まとめられた基本構想・基本方針について説明。
- 総事業費
 - 約7億1200万円
- 建物面積
 - 1300〜1400㎡
- 形態
 - 屋内型・温水設備なし
- ◆医師住宅の譲渡について
 - 平成27年度末で退職するおいらせ病院長に対し、現在住んでいる医師住宅を譲渡するもの。

【第2回】

- ◆公の施設の管理等に関する条例の整備について
 - 公の施設の設置及び管理に関する条例が未整備の施設について、条例を整備するもの。
- ◆防災基本条例の制定について
 - 防災に関する施策の基本事項を定めるもの。
- ◆平成28年度町当初予算について
 - 一般会計、特別会計等当初予算の概要について説明。
- ◆八戸圏域における連携中核都市圏の形成に関する検討結果と今後の進め方について
 - 中核市移行の手続きを進める八戸市を中心とした連携中核都市圏を形成した場合の連携施策について検討結果を説明。

新農業委員会委員16名の任命に同意

— 議案第22号 —

農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、農業委員会委員の選任方法が町長の任命制に変更されました。そのため、委員の改選にあたり、委員候補者選考委員会により候補者として決定され

た19人の委員を任命する提案がありました。その後、候補者の辞退により、議案第16号は撤回され、投票採決の結果、18人のうち、16人の任命について、同意しました。



投票により賛否を示す議員

農業委員会委員投票採決の結果

議案番号	候補者	賛成	反対	議案結果
第2号	佐々木 四樓氏 (一川目)	12	3	可決
第3号	成田 健義氏 (阿光坊)	15	0	可決
第4号	山崎 市松氏 (洗平)	15	0	可決
第5号	松林 勝智氏 (豊原)	14	1	可決
第6号	大川 義博氏 (豊原)	14	1	可決
第7号	坂井田 進氏 (三本木)	15	0	可決
第8号	小向 徳一氏 (藤ヶ森)	15	0	可決
第9号	馬場 武雄氏 (三本木)	15	0	可決
第10号	松林 一弥氏 (豊原)	15	0	可決
第11号	川口 徹氏 (藤ヶ森)	15	0	可決
第12号	西館 芳信氏 (一川目)	12	2	可決
第13号	高坂 隆雄氏 (木ノ下)	5	9	否決
第14号	柏崎 利信氏 (木内々)	6	9	否決
第15号	澤上 勝氏 (木ノ下)	7	7	可決
第17号	松本 勝雄氏 (木崎)	15	0	可決
第18号	蛸名 良夫氏 (本村)	15	0	可決
第19号	袴田 信男氏 (間木)	13	2	可決
第20号	日ヶ久保 浩幸氏 (日ヶ久保)	15	0	可決

※議案第12・13・15号は、議員が候補者であるため、採決には加わっていません。また投票の結果、議案第15号は、可否同数となったため、議長により可決と採決されました。

災害に強い、安全で安心なまちづくりを推進するために

— (議案第21号) —

災害から町民の生命とくらしを守るため、防災に関する基本事項を定めた「おいらせ町防災基本条例」が提案されました。

条例には、防災に関する施策の基本事項のほか、町民、事業者、町、職員、議会に対するそれぞれの責務が規定されています。

議案に対しては反対意見もありましたが、議長の調整により可決となりました。

【質疑】

平野議員 「議会の責務(第9条)の中身は。議長が先頭に立ち、対応することになるのか。」

【まちづくり防災課長】

防災訓練の内容、条例の施行状況について議会が監視し意見してほしい。災害発生時には、議会として視察し、町民の意見、要望を把握し、町や県に伝えていただきたい。組織の進め方は今後検討していく。

【平野議員】

「議会の責務」はまだ理解できない。町民・事業者・町・職員・議会の各責務は、今後町民に対し積極的にPRしてほしい。

【西館芳議員】

他自治体

では、条例に議会を入れたいところもある。議会を入れた基本的な考えは、「議会の責務」のうち(3)の意味が取れない。

【まちづくり防災課長】

議会は行政を監視する役割を持つので、町民の意思を代表する機関として活動してほしいという考え方。(3)は、町・県・国に災害復旧の推進、支援活動の実施に働きかけ、復興に向けた積極的な役割を果たすように取り組んでほしいと思いい、規定した。

【西館芳議員】

この規定は、執行者(町)の権限を侵し、議会の役割、権限を逸脱する行為だ。重大な瑕疵がある。議決できない。

副町長 町の執行権の侵害と指摘されたが、決して侵害というほどのこととはない。

【参考】

(議会の責務) 第9条 議会は町域並びに町民等の生命、身体及び財産を災害から保護するため、防災及び減災に関する調査及び研究を行い、次に掲げる災害対策への助言を行わなければならない。

(1) 略

(2) 略

(3) 議会は、町、国及び県への災害復旧の推進と復興支援活動の実施及び調整に努めなければならない。

27年度3月補正予算の内容

会計別	補正額	補正後の額	歳出の主なもの
一般会計	1億1900万円	110億2902万円	公共施設整備基金積立金 5000万円 情報セキュリティ強化対策業務委託料 4668万円 年金生活者等支援臨時福祉給付金 7500万円
特別会計	▲5029万円	68億7805万円	
国民健康保険特別会計	3109万円	32億1348万円	保険給付費 3608万円
奨学資金貸付事業特別会計	226万円	2128万円	基金積立金 226万円
公共下水道事業特別会計	450万円	11億4645万円	下水道効率的事業計画作成業務委託料 1100万円
農業集落排水事業特別会計	▲146万円	1億3054万円	
介護保険特別会計	▲8480万円	21億8278万円	介護サービス等諸費 ▲9530万円
公共用地取得事業特別会計	—	2519万円	
後期高齢者医療特別会計	▲188万円	1億5833万円	
(公営企業会計)病院事業会計	▲908万円	10億6833万円	
収益的収入及び支出	▲194万円	9億7570万円	
資本的収入及び支出	▲713万円	9262万円	
総計	5963万円	189億7539万円	

※数値は、会計毎に万円未満を四捨五入しているため、合計額が一致しない場合があります。▲は減額です。

その他の審議案件

全会一致で可決

- ◆人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
任期満了に伴い、引き続き、同氏を候補者として推薦するものです。
任期は平成28年7月1日から平成31年6月30日までとなります。
吉米地 善敬氏 (木崎)
- ◆町駅前広場条例の制定
- ◆町史跡等公園条例の制定
- ◆町農村公園条例の一部改正
- ◆行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
- ◆職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部改正
- ◆町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例等の一部を改正
- ◆町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正
- ◆町個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正
- ◆町ハートピア基金条例の一部改正
- ◆町東日本大震災復興交付金基金条例の一部改正
- ◆町税条例の一部改正
- ◆町原子力発電施設等立地地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正
- ◆町下水道条例の一部改正
- ◆町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- ◆町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスのための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正
- ◆町特別参事の設置及び給与等に関する条例の廃止
- ◆町道の路線廃止
明神下7号線を廃止。
- ◆町道の路線認定
緑ヶ丘17号線外10路線を認定。
- ◆行政区域を越える三沢市道の路線認定の承諾
住吉地区の一部を通る三沢市道「59号線」の廃止と「中央・春日台線」の認定を承諾。
- ◆北部児童センター増改築工事(建築)請負契約の締結
○契約額 1億7064万円
○契約者 (株) 柏崎組
○完成予定 平成28年10月31日
- ◆学校給食センター新設事業用地の取得
学校給食センター建設用地として、約7270㎡を約1907万円で購入。



将来の町財源、合併特例債は大丈夫か

町長「町の長期・短期計画を考え 計画的に活用している。」

榎山 忠 議員

町長 町民プールについては、全員協議会で説明しているが、町民プールの実現可能性と多目的ドームの進捗状況は。

榎山 町民プールの実現可能性と多目的ドームの進捗状況は。今後、阿光坊古墳群がイダンス施設建設事業に約2億円、防災行政無線放送整備事業に約1億3000万円、学校給食センター建設事業に約14億4000万円を借り入れる予定。

町長 合併当初の合併特例債借入可能額は、地域振興基金積立事業分を除いて、75億5470万円。平成18年度から26年度まで42件の借入をし、平成27年度末の合併特例債借入可能残高は、45億4920万円となる見込み。

榎山 合併特例債の合併当初の借入可能額と平成27年度末の借入残高、今後活用される事業と借入予想額は。

合併後10年経過 合併特例債の現状は

町長 財源については、補助金はなく、一般単独事業債を充てることになっているが、平成37年度までであれば、合併特例債が活用できること、その他にも、民間資金を活用するPFI*事業として実施

町長 新庁舎建設の財源は合併特例債か。またその時点での借入可能残高は。

町長 本庁舎改修の場合で、約11億円、新統合庁舎建設の場合で約22億円となっている。

榎山 平成25年に庁舎整備検討委員会が提案した合併特例債の額は。

町長 概算事業費は、施設規模の想定が難しく、把握できていない。

明しているが、改めて意見を伺うことにし、日程調整をする。

町長 現在、町設置の防火水槽数は82基であり、平成29年度、31年度に各1基の計2基を予定しているが、設置場所は未定であり、今後、消防水利施設の充足率や各分団等の意見・要望をもとに施設整備を進めたい。

町長 今後の防火水槽整備計画は。三本木地区に設置する考えはないか。

榎山 今後の防火水槽整備計画は。三本木地区に設置する考えはないか。

町長 公共サービスの提供に際して公共施設が必要な場合に、従来のように公共が直接施設を整備せずに民間資金を利用して民間に施設整備と公共サービスの提供をゆだねる手法のこと

する方法など幅広い検討が必要である。合併特例債借入可能残高は、現段階での見込みは困難である。

町長 現在、登下校時の見守りや巡回等を主体としたボランティア団体は「10団体」組織されているが、所属は役場・警察署への届出義務がないことから、行政機関に所属するものではない。連絡体制は、2年ほど前までは12月に実施されている「県下一斉特別警戒取締り日」の活動等への参加協力依頼を行っていたが、その後協力依頼が途切れてしまった。

町長 現在、登下校時の見守りや巡回等を主体としたボランティア団体は「10団体」組織されているが、所属は役場・警察署への届出義務がないことから、行政機関に所属するものではない。連絡体制は、2年ほど前までは12月に実施されている「県下一斉特別警戒取締り日」の活動等への参加協力依頼を行っていたが、その後協力依頼が途切れてしまった。

町長 現在、登下校時の見守りや巡回等を主体としたボランティア団体は「10団体」組織されているが、所属は役場・警察署への届出義務がないことから、行政機関に所属するものではない。連絡体制は、2年ほど前までは12月に実施されている「県下一斉特別警戒取締り日」の活動等への参加協力依頼を行っていたが、その後協力依頼が途切れてしまった。

町長 現在、登下校時の見守りや巡回等を主体としたボランティア団体は「10団体」組織されているが、所属は役場・警察署への届出義務がないことから、行政機関に所属するものではない。連絡体制は、2年ほど前までは12月に実施されている「県下一斉特別警戒取締り日」の活動等への参加協力依頼を行っていたが、その後協力依頼が途切れてしまった。

町とボランティア組織 連絡体制を密接に

町長 災害発生時のボランティアセンター設置に関して、平成24年3月に、社会福祉協議会と「災害時におけるボランティア活動等に関する協定」を締結した。

町長 災害発生時のボランティアセンター設置に関して、平成24年3月に、社会福祉協議会と「災害時におけるボランティア活動等に関する協定」を締結した。

町長 災害発生時のボランティアセンター設置に関して、平成24年3月に、社会福祉協議会と「災害時におけるボランティア活動等に関する協定」を締結した。

町長 災害発生時のボランティアセンター設置に関して、平成24年3月に、社会福祉協議会と「災害時におけるボランティア活動等に関する協定」を締結した。



防犯と交通安全のために ボランティア団体との連携を

町政を問う

～ここが聞きたい 一般質問～

ページ	質問事項	質問議員
9	1. 町財政について 2. 消防施設整備について 3. ボランティア活動について	榎山 忠
10	1. おいらせ町統合庁舎建設と合併特例債について 2. 道路整備について 3. 町内小・中学校のトイレ洋式化について	松林 義光
11	1. 2025年第80回国民体育大会青森県開催について 2. おいらせ町奨学金貸与について 3. 地域おこし協力隊の取り組みについて	平野 敏彦
12	1. いきいき健活ポイント事業について 2. おいらせ町地域の元気再生定住促進事業について 3. 明神川河川改修事業について	沼端 務
13	1. 町の地場産業育成について 2. 屋内ドーム建設計画の進捗状況について 3. 北部地区の下水道整備計画と進捗状況について 4. 各学校の校舎の施設状況について	澤上 勝
14	1. 交差点改良と周辺道路の改良は 2. 行政推進委員報酬の過払いとその対策は	高坂 隆雄

※「一般質問」は、行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。年4回の定例会で行われます。議員が、町の一般事務について、執行機関に対しその執行の状況及び将来の方針等について所信をただし、事実関係を明らかにすることにより、現行の政策を変更、是正させ、あるいは新規の政策を採用させるなどの目的効果があります。

※一問一答方式の場合、60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。「ぎかいだより懸橋」では、スペースの都合上、質問と答弁を要約していますので、本会議場での傍聴をお待ちしております。

※会議録は、議会事務局（本庁舎3階）や町議会ホームページ（<http://www.town.oirase.aomori.jp/site/gikai/>）で閲覧できます。



平野 敏彦 議員

専門的知識を持った地域おこし協力隊員による水産業の環境づくりが必要

町長「幅広い取り組みができると考えている」

第80回国体開催決定 町の取り組みは

平野 2025年第80回国体の青森県開催が事実上決定されたが、町はどのように捉えている。

町長 まだ9年先と考

えがちだが、健康でスポーツを楽しんでいる方々にとって待ち遠しいものだと思う。

全国レベルの大会が身近に見られるだけでも、スポーツの楽しみ方や取り組み姿勢、子供たちにも良い影響が期待され、やってみたいという、きっかけになってくるのではないかと思う。

平野 県では、準備委員会を設置し、会場選定を進めることになるが、町での開催競技については、町民の声を聴いては。

町長 競技種目によっては現状の施設では開催が難しいものもあり、県の競技種目受け入れ調査を見守りつつ、体育関係者や競技関係者などと相談しながら検討したい。

平野 町でも競技を招致すべきと思うが。



夢に向かって

町からの奨学金返済方法の見直しを

平野 町奨学金について27年度決算の見込みは、**教育長** 決算見込み額は、歳出総額で2153万2千円となり、1万9千円の歳計剰余金が生じる見込み。

歳出では、貸付金が1875万円、積立金が274万円1千円となっている。

歳入は、寄付金が60万

町長 今後、県の準備委員会から示される方向性や具体的条件などにもよるが、現有施設での可能性があれば、何らかの競技種目を積極的に招致したい。

平野 奨学金貸付金の収納未済額の見直しを

学務課長 現在、250万6千円で、昨年度より13万6千円の増額となる見込みである。

平野 現在の貸与額は、高等学校が月額1万5千円以内、高等専門学校・短期大学が月額3万円、大学・大学院が月額4万円となっている。

高校での借り入れの返済が大学在学中に始まる場合があるのではないかと返済方法はどうかというのか。

教育長 町奨学金貸付と条例第8条の規定により、貸与終了月の1年後から10年以内の期間に返済できることになっているが、募集時に、貸与期間の2倍の年数以内で返済することにして、大学4年の場合は8年以内に返済してもらっている。

今後、他の制度も参考に研究したい。

学務課長 高校と大学の返済が二重になる現象もあると思うが、実際には、就学期間中は返済を猶予し、卒業後に返済開始としている。

平野 大学卒業後に一緒に返済する方法が、事務的運用で対応できると思う。返済方法の見直しを求める。

地域おこし協力隊 その受け入れ態勢は

平野 地域おこし協力隊の県内での導入実態は、**町長** 県内市町村の受け入れについては、平成28年2月現在、10市町村で19名が委嘱され活動している状況である。

平野 地域おこし協力隊に期待できることは、**町長** 外部からの斬新な視点による町の魅力発見や、協力隊員の才能、能力を生かした活動など、行政ではできないような柔軟な発想が期待されること、熱意や行動力が地域に大きな刺激をあたえ、新たな仕事が生み出されるなど、町の活気と

地域おこし協力隊とは

都市住民など地域外の人材を地域社会の新たな担い手として受け入れ、地域力の維持・強化を図る活動。

交流人口の増加が期待できる。

平野 専門的知識を持った協力隊による水産業の環境づくりを推進する考えはないか。

町長 協力隊の活動として、水産物のPRによる新たな販路開拓、漁労働体験等の受け入れ態勢の構築・実施の他、他自治体の導入事例や、漁協等関係機関との協議により、幅広い取り組みができる。

平野 おいらせ地域協力隊の計画数3人のうち、1人は専門的分野で受け入れる考えは。

町長 協力隊の取り組みについては、町の発展に大きく関わる部分もあるので、担当だけでなく、議員と知恵を絞りながら前向きに対処していきたい。

旧2町の町民融和と行政効率化のため新庁舎建設を

町長「庁舎整備検討委員会の意見を尊重しながら、整備を進めたい。」



松林 義光 議員

合併特例債を使って新庁舎の整備を

松林 おいらせ町庁舎整備検討委員会の提言をどう受け止め、どう取り組むのか。

町長 平成25年7月に委員会から報告があった「イオンモール下田周辺に統合庁舎を」という意見は尊重しながら、新庁舎の整備を進めたい。

イオンモール下田周辺は、現在、市街化調整区域が含まれ、現状では建設が困難な区域であるが、将来の土地利用計画の見直しとあわせて、建設候補地を見極めたい。

松林 新庁舎建設場所は用地買収が不要なことで、環境を考えると、下田公園の一角が最適と考えるが。

町長 将来のまちづくりを考えたとき、イオンモール下田周辺は利便性や商業施設との相乗効果、民間投資を呼び寄せられる地域でもあり、今後さ

らに発展する地域でもあり。

この地域への統合庁舎の整備は、おいらせ町の新たな市街地の形成にもつながると考えており、委員会の意見を踏まえた上で、選定する。

松林 今日までの合併特例債の借入額はいくらか。また、元利償還金の70%が地方交付税により措置されるが、今日までの算入額は。

町長 合併特例債の地域振興基金積立事業分を除いた借入金額は、平成26年度末で28億1360万円、27年度末で30億5550万円の見込み。

また、平成27年度までの地方交付税算入額は、5億321万7千円である。

松林 新庁舎建設基金として37年度まで毎年1億円ずつ積み立てる考えは。

町長 大規模公共施設整備事業の財源として、



共有地が多い北部地区の道路

北部地区の道路簡易舗装で整備しては

松林 学校給食センター、町民プール、多目的ドーム建設への合併特例債活用額は。

町長 学校給食センター建設事業には、14億4千万円を予定しているが、町民プール、多目的ドーム建設は、事業費が未定のため、合併特例債の活用額も未定である。

松林 「町道路用地寄付採納要綱」の要件を満たした道路は寄付してもらい、町が管理する道路として、生活関連道路整備基本計画に登載している。町へ寄付できない場合の整備は、解決策がないか調査・検討を進めたい。しかし町道の整備も、なかなか進まない状況であり、慎重に検討していかなければならない。

子どもたちのために学校トイレの改修を

松林 小中学校のトイレ161基を洋式トイレへ切り替える考えは。

教育長 町内小中学校のトイレの洋式化率は教職員用トイレも含め約45%であり、計画的に和式から洋式へのトイレ改修を行う必要がある。しかし、和式でなければ

は共有地が多く、所有者が所在不明の場合もあり、道路整備が進まない。簡易舗装を進めることはできないか。

町長 全て切り替えた場合の工費は。

教育長 平成20年度から平成22年度にかけて、下田・木内々・百石各小中学校で、トイレの一部洋式化を行った際の工費を参考に試算した結果、約5600万円となった。

現在は、資材費及び人件費等の高騰のほか、トイレブースや床の改修も想定され、工費の増額も考えられる。



各小中学校で使われている和式トイレ



澤上 勝 議員

「屋内ドーム、スピード感を持って建設を」

町長「財源と町民の理解が必要。じっくりと前に進めたい」

地場産業の育成は考えているのか
 澤上 高齢化社会の中で人口減少を防ぐには、地場産業の元気が必要と思っている。TPP成立により日本の農業に1兆円から6兆円のマイナスになるというが、TPPに向けて対応するためにも、第1次産業の育成をどう考える。

町長 当町の第1次産業は、農業、畜産業、漁業があり、それぞれに高齢化や後継者不足などの課題を抱えている。その課題解決として後継者・担い手の育成・確保が必要と考え、町総合計画の施策に位置付け、農業・漁業における新規就業者に対する給付・補助事業、生産コストを低減する機械購入等の補助事業を実施している。

澤上 第2次産業、製造業者等の実態と育成状況は。

町長 第2次産業は、当町には誘致企業はもちろんのこと、個人事業主を含め優れた技術を持つ

事業者が数多く事業展開しているが、後継者不足や人材の確保及び販路の拡大等が課題となっている。

町としては、国・県や関係機関と連携して各種研修やセミナー、相談会等の開催情報の提供や融資制度の紹介している。

澤上 第3次産業、商業者の育成の現状は。

町長 第3次産業は、小売業やサービス業等で、当町には、大型小売店等の出店が続いており、町民の経済活動への利便性は向上しているが、百石地区本町商店街を始め各地域の小規模小売店に厳しさが増している。町としても商店街活性化のために「軽トラ市」や「まちなかサロン」等の事業を展開し集客に努めている。

澤上 第6次産業化育成の現状は。

町長 第6次産業化に取り組み、地域資源を活かした商品等について、町のブランド品として認定し、おいらせブランド推進協議会と連携しながら、販売促進等に努めている。



ドーム施設は町内からも要望あり(写真はグリーンドーム南郷)

健康長寿青森県一に屋内ドームは必要
 澤上 屋内ドーム建設計画の進捗状況は。

町長 屋内ドーム計画は町民プールの調査研究と同時に進めているが、計画策定のため、基本的事項の報告書をまとめている。

澤上 ドームは健康長寿青森県一を目指すには、本場に必要施設であり、体育協会でも毎年強く要望し、町とともに視察にも行っている。スピード感を持って建設を進めてほしい。

澤上 北部地区の下水道整備計画と進捗状況は。

町長 昨年9月の定例会で松林議員に答弁したように、整備には町財政の負担や町民の負担も考慮していかなければならないので、総合的に検討し、来年度の早い段階でご報告したい。

澤上 北部に下水道を整備すれば、まだまだ開発される。

現状では特に町が力を入れなくても不動産屋が力を入れて分譲をして開発が進んでいるが、行政の力も足しながら、さらに北部のほうの人口増加、開発に力を注いでほしい。

木ノ下中に第2体育館新設を
 澤上 現在、木ノ下中学校の体育館で各部活動の使用状況は支障をきたしていないか。

教育長 体育の授業や学校行事等で使用しているほか、各部活動において各部が交互に利用している。

木ノ下中学校の体育館は建設後35年が経過し、老朽化が進んでいることから、改築の計画があり、実施計画にも計上している。時期は、平成34年度から3か年で改築工事を行う計画である。

澤上 木ノ下小学校のように第2体育館の新設整備はできないか。

学務課長 今のところ、木ノ下小学校のように二つ目の体育館をつくることは考えていない。下田中学校のように柔道ができるスペースを確保し、今よりも少し大きな体育館を計画したい。



沼端 務 議員

「健康長寿」達成には長期の取り組みが必要。事業内容の改善を図り、青森県一をめざせ

町長「関係課との連携を図り事業を推進している。今後も取り組みを強化。」

健康ポイント事業の推進と強化を
 沼端 いきいき健活ポイント事業の実施状況は。

町長 今年度の実施期間は、事業への参加及びポイント交換は、昨年の6月25日から今年2月29日までとなっていた。

ポイント交換者数は、2月19日現在107名で、男女比は男性3に対し女性7、およそ7割は高齢者という状況になっている。

沼端 「健康長寿青森県一」を目指すため、庁内横断的なプロジェクトチームを編成し、いきいき健活ポイント事業の推進体制の拡充を図っては。

町長 同事業は、「社会参加促進プロジェクトチーム」の中で議論を進め、環境保健課健康長寿推進室と協議しながら進めてきた。

また、事業開始後は、副町長と関係課長から構成する健活ポイント対象

事業選定委員会を組織し、プロジェクトチームの議論と合わせて関係課の連携を図りながら事業を推進している。

「庁内横断的な」体制は、極めて重要なことと認識している。今後、さらに連携を深め、取り組みを強化したい。

沼端 20ポイント以下の抽選会への応募を基本健診だけでできないか。また、ポイント交換を一人年1回ではなく2回以上に変更してはどうか。

町長 抽選会への参加については、できるだけ多くの方が参加し、関心を持ってもらうことが必要ということで「基本健診を受診し」、「私の健活宣言」をすれば、応募できるよう変更し、広報おいらせ2月号、3月号でお知らせをした。

また、ポイント交換回数の変更は、健康づくり活動への参加者を増やすために有効な手法の一つと考えているが、「自分の健康は自分でつくる」

という自主的な姿勢もまた必要である。

そこで健康づくりへの動機づけ手段と本来の目的である自発的な行動とのバランスをとることが大切という認識のもと、今後事業を継続する中で参加者数の状況を見極めながら、どのおあたりが適切なのか判断したい。

少子化対策の見直し・拡充は早め実施を
 沼端 おいらせ町地域の元気再生定住促進事業の実施状況は。

町長 平成26年度の実績は4件(下田小学校区1件、甲洋小学校区3件)、



ポイント交換回数を変更しては

27年度は、2月末現在の申請件数は5件(下田小学校区2件、甲洋小学校区3件)となっている。

沼端 「おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中の三世帯同居と近居を事業内容に拡充できないか。

町長 国では、少子高齢化対策として、現在、三世帯同居に対する住居建設費の補助やリフォームへの優遇策、所得税や相続税の優遇など、三世帯同居、近居を促進するための施策検討を加速させている。

町としても、1つの案として、地域の元気再生定住促進事業の拡充として、三世帯同居・近居について検討したい。

河川災害予防のため明神川の早期整備を
 沼端 明神川河川改修事業の進捗状況は。

町長 同事業は県が事業主体となり、事業の計

画延長は3670メートル、全体事業費は32億8700万円となっている。平成27年度までに、沼端2号橋、3号橋の二つの橋の架け替えが完成した他、堤防は約1100メートルが完成し、事業の進捗率は約47%となっている。

沼端 県道百石・下田線と日ヶ久保の沼端1号橋の架け替え、取付道路整備の見通しは。

町長 県道百石・下田線と日ヶ久保の町道を結ぶ沼端1号橋は、平成29年度以降工事に着手し、3ヶ年程度の期間で完成する予定である。

また、橋に通じる道路は橋の完成に合わせて整備を進めたい。



沼端1号橋(上)と沼端3号橋(下)



高坂 隆雄 議員

「危険カーブの改良を！」

町長「住民の協力が必要。県に要望したい」

交差点改良と 周辺道路の改良は？

高坂 交差点改良を望む地域の声に、町は、町消防団下田第5分団屯所の新築移設を昨年3月に竣工した。

昨秋には、旧屯所の解体と防火水槽の撤去により、更地となっている。今後は、交差点改良工事に入ることになると思うが、着手時期は。

町長 車が出やすいような丁字路交差点に改良するため、現在測量と基本計画を進めており、管理者である県や、警察と事前協議を進めたい。で、平成29年度以降工事着手し整備を進めたい。

高坂 交差点を改良してもなお、周辺道路はカーブが多く見通しが悪い。

そこで、特にS字カーブのきつい、氣比神社東側鳥居付近から、旧屯所跡地交差点まで、住宅や店舗に掛かったとしても、大規模に改良するべきと考えるが。

町長 これまでも県単

独道路管理事業と併せて視距改良の整備を要望しているが、現時点で事業化には至っていない。道路の線形の見直しを含めて、用地や補償物件など住民の協力が必要になるため、その協力が得られるのであれば県に対して要望したい。



氣比神社付近のS字カーブ

高坂 三沢方面から南へ走ると、氣比神社東側鳥居を過ぎて、正面鳥居過ぎまで非常にきついS字カーブとなっている。最初のカーブを曲り切れずに一般住宅へ突っ込んだ物損事故が過去に数件発生し、いつ重大事故が発生するかもしれない

高坂 昨年6月、「行政推進委員報酬 過払いとその対策は？」

町長 再発防止策の1つ目として、行政連絡員

この配布世帯数と行政推進委員が直接配布した世帯数を合わせて報告させるようにした。2つ目として、昨年10月に連合町内会に相談して、様々な意見が出され、意見集約に相当の時間を要すると思うが、行政推進委員の皆様方のご意見を聞きながら、再発防止策と町民サービスの向上に努めていく。

高坂 議員・議会には、予算執行のチェック機能の役割がある。行政推進委員の業務は4つあるが、その内の1つ、町広報紙等の配布は各町内会へ委託し、委託料として世帯数×単価を実際に配達する班長に支出し、その他の3つの業務を行政推進委員報酬として、定額制+世帯数×単価で支出するものも、1つの考え方である。いずれにしても、目的が達成されて、誤解の生じないような、仕組みづくりが必要だ。

町民プール整備を協議

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会（吉村敏文委員長）では、平成28年3月30日（水）に町民プール等の整備に係る調査・検討について、担当課から説明を受けました。

町民プール整備基本構想・基本方針については、第1回議員全員協議会（1/19）で説明がありましたが、その際、多くの議員から、温水設備がない屋内型であること、使用期間が約3ヶ月だけにも関わらず、事業費が高額であること等指摘があり、学校プール建設も検討するよう意見がありました。

今回、社会教育・体育課からは、学校プール（冷水型）案と屋内プール（冷水型、温水型）のそれぞれの建設費、維持管理費について、また、県内各市町村での既設プールの使用状況についても説明がありました。

プール整備は必要だが…



プール整備は必要だが…

校プールとした場合の必要数や財源、一般開放の有無等について質疑があったほか、健康増進のために温水型を作るべきという意見、インストラクターを置くべきという意見も出ました。

今後、委員会は、屋内冷水型プールを設置している北海道の自治体を視察した後に、意見をまとめることになりました。

町内新商業施設を視察

産業民生常任委員会

産業民生常任委員会（橋山忠委員長）では、平成28年1月15日（金）に所管事務の調査を実施しました。また、3月24日（木）には平成28年度町生活関連道整備基本計画等について、地域整備課から説明を受けました。

◆第1回委員会

○北部児童センター増築 整備状況について

木ノ下児童館の移転に伴う北部児童センターの増築について、担当課長から説明。

○いきいき健康ポイント 事業について

健康ポイント事業参加者へのアンケート結果について、担当室長から説明。

○ホッキ貝漁の状況について

12月現在のホッキ貝漁の水場金額、採捕量、平均単価について、担当者から説明。

○おいらせコールセンターについて

事業譲渡とその経緯について、担当課長から説明。

○街なかサロン運営事業・空き店舗活用事業



東京インテリア家具を視察

その後、北部児童センター、おいらせショッピングセンター、東京インテリア家具下田店の視察を実施し、担当者から説明を受けました。

街なかサロン「みんなの休憩所」の概要・運営状況、空き店舗等活用支援事業補助金の概要、交付実績等について、担当課長から説明。

2つ目

◆第2回委員会

○平成28年度生活関連道整備基本計画について
全体概算工事費147億円が見込まれる中、28年度に予定している町道整備箇所10路線について

平成28年度 生活関連道整備計画選定路線

【工事】（予算額2億2700万円）

No.	種別	町内会名	路線名	延長
1	継続	鶉久保	鶉久保地区5号支線	57m
2	継続	一川目	一川目1号線	80m
3	継続	緑ヶ丘	緑ヶ丘2号線	50m
4	継続	根岸	根岸3号線	98m
5	継続	六丁目	根岸1号線	40m
6	継続	住吉	住吉町・三沢線	100m
7	継続	阿光坊	阿光坊南1号線	70m
8	継続	木ノ下	上久保15号線	78m
9	継続	緑ヶ丘	緑ヶ丘19号線	155m
10	継続	木内々	木内々・本町線外*	800m

*国からの補助金を財源として3カ年で工事をし、平成29年度に完成する予定です。